

# 【報告】協同シンポジウム2018 in おおさか ~ SDGsで誰もほっとかへん社会へ



国連広報センター所長 **根本かおるさん**と

日本協同組合学会会長 **田中 夏子さん**と

## 一緒に考える “誰もほっとかへん社会”

■日 時：2018年10月13日（土）13時15分～16時30分

■会 場：新大阪丸ビル別館10階



当金庫大阪地区本部と大阪府生活協同組合連合会が主催する標記シンポジウムが、新大阪丸ビル別館にて開催され、ろうきん・生協・労働組合・NPO などから約 180 人が集いました。

「協同シンポジウム」は、2012 国際協同組合年を契機に、ろうきんと生協の連携・協同の姿を内外に形として示し、ろうきん・生協それぞれの運動への共感と信頼を高めるべく、2013 年より毎年開催してきました。

6回目となる今回は「持続可能な開発目標(SDGs)」と協同組合が果たす役割について学び、協同セクターや労働団体、NPO、ボランティア等の活動の連携について考える機会となりました。

### 【キーノート・スピーチ 1】

「誰も置き去りにしない！ SDGsを自分事化して、世界を変革する」  
スピーカー：根本 かおる さん(国連広報センター・所長)

- SDGsの特徴：先進国も途上国も、協同組合は役割を果たすべきアクター
- SDGsの3つの側面(経済成長・社会的包摂・環境保護)を統合的に推進
- 「やめよう、プラスチック汚染」
- 地球は子どもたちからの借り物。SDGsを共通の座標軸にあなたのアクションを！



### 【キーノート・スピーチ 2】

「協同組合が、SDGsを取り組む際の意義、可能性、意義」  
スピーカー：田中 夏子 さん(日本協同組合学会・会長)

- 協同組合とSDGsとの間には、理念・実践において多くの共有部分が存在
- 求められる発想：市民自治の発揮・体現(分断に翻弄されない連携)、協同組合間協同、連帯経済との連携、社会的共有財の保全、社会的排除との闘い
- NPO 等とのつながりを大事に、自治体とともに地域課題を考える担い手として



### 【メッセージ】シメル・エシムさん

(国際労働機関 企業局 協同組合ユニット長)

本シンポジウムをご後援いただいた国際労働機関(ILO)駐日事務所の打診による、国際労働機関(ILO)本部からのメッセージが届きました。

日本の協同組合に対する関心と強い期待が込められた内容で、会場でご披露させていただきました。

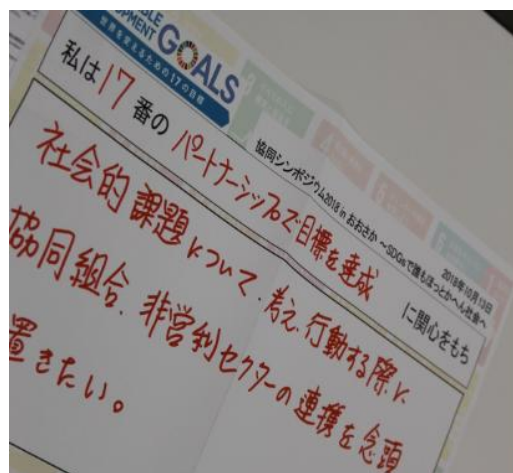
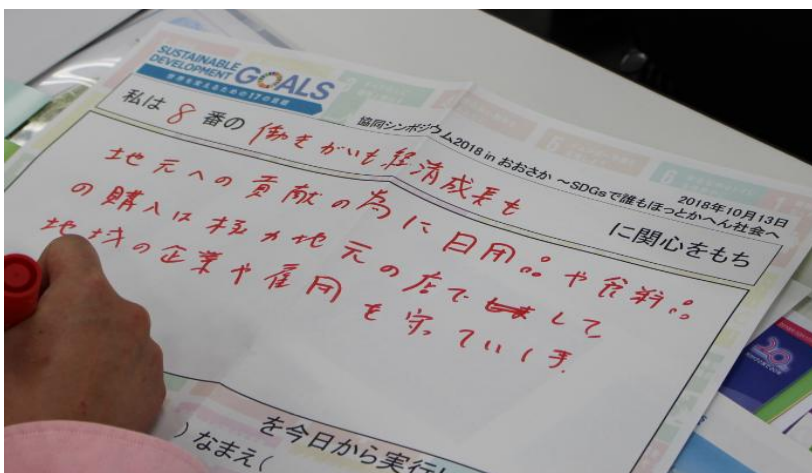
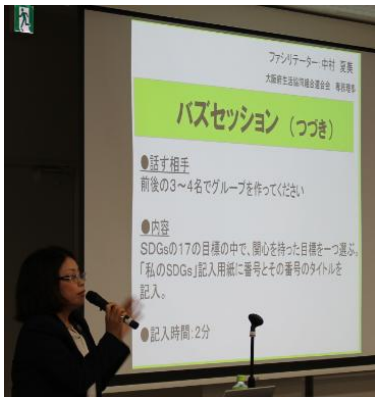
(※代読：椋木スタッフ／事務局・大阪ボランティア協会)



**【バズセッション】「SDGs達成に向けて、自分が・組織が取り組めること」**

SDGs達成に向けて、自分が・組織が取り組めることについて、グループで意見交換をし、全体で共有しました。

\*バズセッションとは・・・ 数名一組になってくつろいだ雰囲気の中で意見交換を行うスタイルのこと。



【開会挨拶】 タン会長理事 (大阪府生協連)

【閉会挨拶】 宮西常務 (近畿ろうきん)

【司会】 清水理事 (大阪府生協連)



**【「私のSDGs」メッセージ写真撮影】**



【ゆめ風基金・被災障がい者支援募金プロジェクト】 ※ 会場募金集計：25,171円

ご参加いただきましたみなさまのご協力に感謝申し上げます。募金プロジェクトの詳細は[こちら](#)をご覧ください。